

<日本語日本文化学科>(認定課程:中学校教諭一種免許(国語))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・日本語学・日本文学・日本文化についての基礎的な知識を習得する。日本の文学史について幅広い知識を得る。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・日本語学・日本文学・日本文化についての基礎的な知識を習得する。日本の文学史について幅広い知識を得る。 ・ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・現代日本語の音声および音声学・音韻論についての基礎的な知識を習得する。日本の近現代文学や古典文学作品を読み、内容を理解する力を身につける。 ・教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・日本語の持つ個別性と普遍性について理解する。日本の近現代文学や古典文学作品を読み、内容を理解する力を身につける。 ・教職理論などの教職についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	国語科教員になるための基礎的な知識や実践的な技術の習得を目指す。教育実習に臨むにあたり、ふさわしい授業技術・力量を身につける。話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの指導および伝統的な言語文化に関する事項を習得する。専門的知識を身につけることで指導力を向上させ、教育実習や教員採用試験に向けて必要な知識や指導方法などを習得する。
	秋学期	国語科教員になるための基礎的な知識や実践的な技術の習得を目指す。教育実習に臨むにあたり、ふさわしい授業技術・力量を身につける。話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの指導および伝統的な言語文化に関する事項を習得する。専門的知識を身につけることで指導力を向上させ、教育実習や教員採用試験に向けて必要な知識や指導方法などを習得する。
4年次	春学期	調査、資料収集等の十分な準備をし、積極的に討論に加わる。研究報告の成果をまとめることができるように総合的な力を身につける。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	調査、資料収集等の十分な準備をし、積極的に討論に加わる。研究報告の成果をまとめることができるように総合的な力を身につける。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連の科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				日本語学入門A		健康科学	スタートアップセミナー
					日本文学史A		英語スキルⅠ	
	秋学期				日本語学入門A		情報スキル入門	
2年次	春学期				日本文学史B		日本の憲法	
					日本文学入門B		英語スキルⅡ	
	秋学期				日本語学入門B		情報スキル活用	
3年次	春学期	1	ABC	教職概論	日本語講義A		スポーツA	
		2	A	教育史	近現代文学講読A		英語スキルⅢ	
	秋学期				古典文学講読A			
4年次	春学期	2	A	教育原論	古典文学講読B		スポーツB	
		2	B	教育心理	日本語講義B		英語スキルⅣ	
	秋学期	3	B	教育方法論	近現代文学講読B			
3年次	春学期	3	A	教育課程総論	漢文学			
		3	B	国語科教育法AⅠ	書道A			
	秋学期	3	B	国語科教育法BⅠ	日本文学演習A			
		3	C	特別活動				
4年次	春学期	4	AC	生徒指導・進路指導				
		2	C	教育行政学	日本文学演習B			
	秋学期	3	B	国語科教育法AⅡ				
		3	B	国語科教育法BⅡ				
集中	3	B	道徳教育の方法					
	4	B	学校教育相談					
4年次	春学期	2	C	学校経営論				卒業研究
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)				卒業研究
集中	5			教育実習B				

<日本語日本文化学科> (認定課程: 高等学校教諭一種免許(国語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・日本語学・日本文学・日本文化についての基礎的な知識を習得する。日本の文学史について幅広い知識を得る。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・日本語学・日本文学・日本文化についての基礎的な知識を習得する。日本の文学史について幅広い知識を得る。 ・ポランテア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・現代日本語の音声および音声学・音韻論についての基礎的な知識を習得する。日本の近現代文学や古典文学作品を読み、内容を理解する力を身につける。 ・教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・日本語の持つ個別性と普遍性について理解する。日本の近現代文学や古典文学作品を読み、内容を理解する力を身につける。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	国語科教員になるための基礎的な知識や実践的な技術の習得を目指す。教育実習に臨むにあたり、ふさわしい授業技術・力量を身につける。話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの指導および伝統的な言語文化に関する事項を習得する。
	秋学期	国語科教員になるための基礎的な知識や実践的な技術の習得を目指す。教育実習に臨むにあたり、ふさわしい授業技術・力量を身につける。話すこと・聞くこと・書くこと・読むことの指導および伝統的な言語文化に関する事項を習得する。専門的知識を身につけることで指導力を向上させ、教育実習や教員採用試験に向けて必要な知識や指導方法を習得する。
4年次	春学期	調査・資料収集等の十分な準備をし、積極的に討論に加わる。研究報告の成果をまとめることができるように総合的な力を身につける。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	調査・資料収集等の十分な準備をし、積極的に討論に加わる。研究報告の成果をまとめることができるように総合的な力を身につける。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連する科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				日本語学入門A		健康科学	スタートアップセミナー
					日本文学史A		英語スキルⅠ	比較文化論
					日本語学入門A		情報スキル入門	
	秋学期							
					日本文学史B		日本の憲法	民俗学入門
					日本語学入門B		英語スキルⅡ	情報スキル活用
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	日本語講義A		スポーツA	
		2	A	教育史	近現代文学講読A		英語スキルⅢ	
					古典文学講読A			
	秋学期	2	A	教育原論	古典文学講読B		スポーツB	
		2	B	教育心理	日本語講義B		英語スキルⅣ	
		3	B	教育方法論	近現代文学講読B			
3年次	春学期	3	A	教育課程総論	漢文学			
		3	B	国語科教育法AⅠ	古典文学講義A			
		3	C	特別活動	日本文学演習A			
		4	AC	生徒指導・進路指導				
	秋学期	2	C	教育行政学	日本文学演習B			
		3	B	国語科教育法AⅡ	古典文学講義B			
4年次	春学期	2	C	学校経営論			卒業研究	
	秋学期	6	△	教職実践演習(中・高)			卒業研究	
集中	5	△	教育実習A					

<英語英米文化学科>(認定課程:中学校教諭一種免許(英語))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、多くの英語コミュニケーション関連科目の履修により基礎的な英語力を養うとともに、英語学と英語圏の文化に関する知識と異文化理解能力の基礎を身に付ける。 ・オリエンテーション等で、教職課程の教科を知り、今後の履修計画を立てる。施行規則第66条の6に関する科目の履修を始める。
	秋学期	・教科に関する科目では、多くの英語コミュニケーション関連科目の履修により、英語力を養うとともに、英語学と英語圏の文化に関する知識と異文化理解能力を身に付ける。 ・ポランティア等教職につながる活動に積極的に取り組む。引き続き施行規則第66条の6に関する科目を履修する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、英語による異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する理解を深める。また、「応用言語学」などの科目により、言語習得理論の基礎を理解する。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語による異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する理解をさらに深める。また、「応用言語学」などの科目により、言語習得理論を理解する。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、英語による本格的な異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する深い知識やさらなる理解を得る。また、言語習得理論に基づく英語学習・英語語教育への応用ができるようにする。 ・英語科教育法AⅠ、BⅠを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語による本格的な異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文学や文化に関する深い知識と理解に基づく、実践ができる。また、言語習得理論を理解し、英語学習・英語語教育への応用ができるようになる。 ・英語科教育法AⅡ、BⅡを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、多様な文化を持つ世界の人々と、本格的な異文化コミュニケーションができるようになる。また、英語圏の文化や言語学、言語教育学などを総合的な見地から、英語教育に応用することができるようになる。 ・教科実習に臨み、教育現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				言語学入門A		健康科学	スタートアップセミナー
					Integrated English A		情報スキル入門	
	秋学期				異文化コミュニケーション論A			
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	英米の文学A		スポーツA	
		2	A	教育史	応用言語学A		ドイツ語入門II	
	秋学期							
3年次	春学期	2	A	教育原論	応用言語学B		スポーツB	
		2	B	教育心理				
	秋学期	3	D	教育方法論				
4年次	春学期	3	A	教育課程総論	英米の文化A			
		3	B	英語科教育法AⅠ	英語の発音A			
	秋学期	3	B	英語科教育法BⅠ				
		3	C	特別活動				
5年次	春学期	4	AC	生徒指導・進路指導				
		2	C	教育行政学	英米の文化B			
	秋学期	3	B	英語科教育法AⅡ	英語の発音B			
		3	B	英語科教育法BⅡ				
集中	3	B	道徳教育の方法					
	4	B	学校教育相談					
6年次	春学期	2	C	学校経営論				卒業研究
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)				卒業研究
7年次	集中	5		教育実習B				

<英語英米文化学科> (認定課程: 高等学校教諭一種免許(英語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、多くの英語コミュニケーション関連科目の履修により基礎的な英語力を養うとともに、英語学と英語圏の文化に関する知識と異文化理解能力の基礎を身に付ける。 ・オリエンテーション等で、教職課程の教科を知り、今後の履修計画を立てる。施行規則第66条の6に関する科目の履修を始める。
	秋学期	・教科に関する科目では、多くの英語コミュニケーション関連科目の履修により、英語力を養うとともに、英語学と英語圏の文化に関する知識と異文化理解能力を身に付ける。 ・ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、英語による異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する理解を深める。また、「応用言語学」などの科目により、言語習得理論の基礎を理解する。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語による異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する理解をさらに深める。また、「応用言語学」などの科目により、言語習得理論を理解する。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、英語による本格的な異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文化に関する深い知識やさらなる理解を得る。また、言語習得理論に基づく英語学習・英語教育への応用ができるようにする。 ・英語科教育法AⅠを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、英語による本格的な異文化コミュニケーション能力を高めると同時に、英語圏の文学や文化に関する深い知識と理解に基づき、実践ができる。また、言語習得理論を理解し、英語学習・英語教育への応用ができるようになる。 ・英語科教育法AⅡを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、多様な文化を持つ世界の人々と、本格的な異文化コミュニケーションができるようになる。また、英語圏の文化や言語学、言語教育学などを総合的な見地から、英語教育に応用することができるようになる。 ・教科実習に臨み、教育現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2) 履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				言語学入門A		日本の憲法	スタートアップセミナー	
					Integrated English A		ドイツ語入門		
					異文化コミュニケーション論A		情報スキル活用		
	秋学期					言語学入門B		日本の憲法	
						Integrated English B		ドイツ語入門	
						異文化コミュニケーション論B		情報スキル活用	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	英米の文学A		スポーツA		
		2	A	教育史	応用言語学A		ドイツ語入門II		
					英語のしくみA				
	秋学期								
		2	A	教育原論	早期英語 教育論B		スポーツB		
		2	B	教育心理	応用言語学B				
3年次	春学期	3	B	教育方法論	英語のしくみB				
	秋学期	3	A	教育課程総論	英語の発音A				
		3	B	英語科教育法AⅠ	英米の文化A				
4年次	春学期	3	C	特別活動					
		4	AC	生徒指導・進路指導					
秋学期	2	C	教育行政学	英語の発音B					
	3	B	英語科教育法AⅡ	英米の文化B					
集中	秋学期	4	B	学校教育相談					
集中	春学期	2	C	学校経営論			卒業研究		
集中	秋学期	6		教職実践演習(中・高)			卒業研究		
集中	集中	5		教育実習A					

<コミュニケーション学科>(認定課程:中学校教諭一種免許(社会))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、現代社会を理解するために必要となる基礎的な能力を育てる。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・教科に関する科目では、日本社会について日本史、世界史の流れの中で把握し、社会的事象に関する必要な情報を集めて社会に対する関心を高める能力を育てる。 ・ボランティア等教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、地域社会に関する理解を深め、社会的事象に関する情報について多面的・多角的に考察し、表現における自由と法、倫理、政治学に関する基礎知識を修得する。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、地域の問題について多面的な知識を身につけ、法学に関する基礎知識を修得する。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、哲学に関する基礎知識を修得する。 ・社会科・公民科教育法Ⅰと社会科・地理歴史科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、経済学に関する基礎知識を修得する。 ・社会科・公民科教育法Ⅱと社会科・地理歴史科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
		科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				社会学		健康科学	スタートアップセミナー	
							英語スキルⅠ		
								情報スキル入門	
	秋学期					世界の中の日本(歴史)		日本の憲法	
						メディア・クリティシズムA		英語スキルⅡ	
								情報スキル活用	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	地域とメディア		スポーツA		
		2	A	教育史	メディアの法と倫理		英語スキルⅢ		
					メディア・クリティシズムB				
	秋学期				政治学概論				
		2	A	教育原論	地域と環境		スポーツB		
		2	B	教育心理	日本地誌		英語スキルⅣ		
3年次	春学期	3	B	教育方法論	地域と都市				
					法学概論				
	秋学期	3	A	教育課程総論	哲学概論				
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅰ					
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ					
3		C	特別活動						
秋学期	4	AC	生徒指導・進路指導						
	2	C	教育行政学	経済学概論					
	3	B	社会科・公民科教育法Ⅱ						
	3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ						
4年次	春学期	3	B	道徳教育の方法					
		4	B	学校教育相談					
		2	C	学校経営論				卒業研究	
	秋学期								
		6		教職実践演習(中・高)				卒業研究	
集中	5		教育実習B						

<コミュニケーション学科>(認定課程:高等学校教諭一種免許(公民))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、現代社会を理解するために必要となる基礎的な能力を育てる。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・教科に関する科目では、日本社会について日本史、世界史の流れの中で把握し、社会的事象に関する必要な情報を集めて社会に対する関心を高める能力を育てる。 ・ボランティア等教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、地域社会に関する理解を深め、社会的事象に関する情報について多面的・多角的に考察し、表現における自由と法、倫理、政治学に関する基礎知識を修得する。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、法学についての基礎知識を修得し、現代社会について多面的に理解を深める。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、哲学に関する基礎知識を身につける。 ・社会科・公民科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、経済学に関する基礎知識を身につける。 ・社会科・公民科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				社会学		健康科学	スタートアップセミナー
					心理学		英語スキルⅠ	
	秋学期				比較文化論		情報スキル入門	
2年次	春学期				メディア・クリティシズムA		日本の憲法	
							英語スキルⅡ	
							情報スキル活用	
	秋学期	1	ABC	教職概論	メディアの法と倫理		スポーツA	
		2	A	教育史	行動科学A		英語スキルⅢ	
					地域とメディア			
					社会とことば			
					広告と表現			
					メディア・クリティシズムB			
3年次	春学期				政治学概論			
		2	A	教育原論	談話分析		スポーツB	
		2	B	教育心理	映画と社会		英語スキルⅣ	
	秋学期	3	B	教育方法論	法学概論			
4年次	春学期	3	A	教育課程総論	哲学概論			
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅰ				
	3	C	特別活動					
	4	AC	生徒指導・進路指導					
秋学期	2	C	教育行政学	経済学概論				
	3	B	社会科・公民科教育法Ⅱ					
	4	B	学校教育相談					
集中	2	C	学校経営論				卒業研究	
	6		教職実践演習(中・高)				卒業研究	
	5		教育実習A					

<心理学科>(認定課程:中学校教諭一種免許(社会))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	教科に関する科目では、学問に対する基本的な姿勢を育て、社会科に関して理解する能力を育成する。 オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	教科に関する科目では、歴史学に関する理解を深め、心についての基礎的な理解を身につける。 教育心理学Aで教育心理の基礎を学ぶとともに、ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	教科に関する科目では、政治学に関する理解を深める。 教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	教科に関する科目では、地理学・法学に関する理解を深める。 教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	教科に関する科目では、哲学に関する理解を深める。 社会科・地理歴史科教育法Ⅰと社会科・公民科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	教科に関する科目では、経済学に関する理解を深める。 社会科・地理歴史科教育法Ⅱと社会科・公民科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	卒業研究を通じて、これまで習得してきた理解や能力の総仕上げを行う。 教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	卒業研究を通じて、これまで習得してきた理解や能力の総仕上げを行う。 教職実践演習を通じて、これまで習得してきた教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				社会学		健康科学	スタートアップセミナー	
					感情・人格心理学		英語スキルⅠ		
							情報スキル入門		
	秋学期					世界の中の日本(歴史)		日本の憲法	
						社会・集団・家族心理学		英語スキルⅡ	
								情報スキル活用	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	政治学概論		スポーツA		
		2	A	教育史	心理学史		英語スキルⅢ		
	秋学期	2	A	教育原論	地域と環境		スポーツB		
		2	B	教育心理	日本地誌		英語スキルⅣ		
		3	B	教育方法論	地域と都市				
3年次	春学期				法学概論				
		3	A	教育課程総論	哲学概論				
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅰ					
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ					
	秋学期	3	C	特別活動					
		4	AC	生徒指導・進路指導					
		2	C	教育行政学	経済学概論				
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅱ	健康・医療心理学				
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ					
		3	B	道徳教育の方法					
4年次	春学期							卒業研究	
		2	C	学校経営論					
	秋学期								
		6		教職実践演習(中・高)				卒業研究	
集中	5		教育実習B						

<心理学科>(認定課程:高等学校教諭一種免許(公民))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	教科に関する科目では、学問に対する基本的な姿勢を育て、社会科に関して理解する能力を育成する。 オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	教科に関する科目では、基礎的な心理学の知見に関する理解を深め、心についての基礎的な理解を身につける。 教育心理学Aで教育心理の基礎を学ぶとともに、ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	教科に関する科目では、政治学および倫理学についての理解を深める。 教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	教科に関する科目では、法学に関する理解を深める。 教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	教科に関する科目では、子ども理解や学校現場に関する心理学の理解を深め、哲学に関する理解を深める。 社会科・公民科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	教科に関する科目では、子どもの心の発達に関する心理学の理解を深め、経済学に関する理解を深める。 社会科・公民科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	卒業研究を通じて、これまで習得してきた理解や能力の総仕上げを行う。 教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	卒業研究を通じて、これまで習得してきた理解や能力の総仕上げを行う。 教職実践演習を通じて、これまで習得してきた教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関する科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				社会学		健康科学	スタートアップセミナー
					感情・人格心理学		英語スキルⅠ	
					知覚・認知心理学		情報スキル入門	
	秋学期				臨床心理学概論			
					心理学概論			
					社会・集団・家族心理学		日本の憲法	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	政治学概論		スポーツA	
		2	A	教育史	行動科学A		英語スキルⅢ	
					表現と倫理			
	秋学期	2	A	教育原論	法学概論		スポーツB	
		2	B	教育心理	文化心理学		英語スキルⅣ	
		3	B	教育方法論				
3年次	春学期	3	A	教育課程総論	哲学概論			
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅰ	教育・学校心理学			
		3	C	特別活動	生涯発達心理学			
		4	AC	生徒指導・進路指導				
	秋学期	2	C	教育行政学	経済学概論			
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅱ	健康・医療心理学			
	4	B	学校教育相談					
4年次	春学期	2	C	学校経営論			卒業研究	
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)			卒業研究	
	集中	5		教育実習A				

<歴史地理学科>(認定課程:中学校教諭一種免許(社会))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、地理学の基礎的な知識を習得するとともに、歴史学の基礎的な方法論および文献講読の能力を育てる。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学の基礎的な知識を習得するとともに、地理学の基礎的な方法論および調査活動の能力を育てる。 ・ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目の履修を完了する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、社会科学領域の科目に関する基礎的な知識、歴史学・地理学に関する専門的な知識・技能を習得し、それらを活用できる能力を育てる。 ・教職概論などで教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、社会科学領域の科目に関する基礎的な知識、歴史学・地理学に関する専門的な知識・技能を習得し、それらを活用できる能力を育てる。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学の専門的な知識・分析方法を習得し、研究能力を育てる。 ・社会科・地理歴史科教育法Ⅰと社会科・公民科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学の専門的な知識・分析方法を習得し、研究能力を育てる。 ・社会科・地理歴史科教育法Ⅱと社会科・公民科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学に関する知識を総合的に習得・活用させ、卒業研究を通じて地理学・歴史学に関する研究能力を高める。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて歴史学・地理学の各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職課程履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
		科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				世界の中の日本A(地理)		健康科学	スタートアップセミナー	
					歴史学の方法		英語スキルⅠ		
							情報スキル入門		
	秋学期					世界の中の日本B(歴史)		日本の憲法	
						地域調査の基礎		英語スキルⅡ	
						文献講読の基礎		情報スキル活用	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	政治学概論		スポーツA		
		2	A	教育史	地域と歴史		英語スキルⅢ		
					日本の中世				
					日本の近世				
					アジアの歴史A				
					ヨーロッパの歴史A				
	秋学期	2	A	教育原論	法学概論		スポーツB		
		2	B	教育心理	地域と環境		英語スキルⅣ		
		3	B	教育方法論	日本地誌				
					アジアの歴史B				
					ヨーロッパの歴史B				
3年次	春学期	3	A	教育課程総論	現代と心				
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅰ	歴史学特殊講義A				
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	地理学特殊講義A				
		3	C	特別活動	日本史の文献を読むA				
	秋学期	4	AC	生徒指導・進路指導	歴史学特殊講義B				
		2	C	教育行政学	経済学概論				
		3	B	社会科・公民科教育法Ⅱ	地理学特殊講義B				
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	世界地誌				
		3	B	遠徳教育の方法	日本史の文献を読むB				
		4	B	学校教育相談					
4年次	春学期	2	C	学校経営論				卒業研究	
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)				卒業研究	
集中	5		教育実習B						

<歴史地理学科>(認定課程:高等学校教諭一種免許(地理歴史))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・教科に関する科目では、地理学の基礎的な知識を習得するとともに、歴史学の基礎的な方法論および文献講読の能力を育てる。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学の基礎的な知識を習得するとともに、地理学の基礎的な方法論および調査活動の能力を育てる。 ・ボランティア等で教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学の専門的な知識・技能を習得し、それらを活用できる能力を育てる。 ・教職概論などで教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学に関する専門的な知識・技能を習得し、それらを活用できる能力を育てる。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学の専門的な知識・技能を習得し、研究能力を育てる。 ・社会科・地理歴史科教育法Ⅰを中心に指導の内容と方法についての理解を深める。
	秋学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学の専門的な知識・技能を習得し、研究能力を育てる。 ・社会科・地理歴史科教育法Ⅱを中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・教科に関する科目では、歴史学・地理学に関する知識を総合的に習得・活用させ、卒業研究を通じて地理学・歴史学に関する研究能力を高める。 ・教育実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・教科に関する科目では、卒業研究を通じて歴史学・地理学の各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習等を通じて、教職課程履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称							
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
		科目区分	必要事項	科目名称					
1年次	春学期				世界の中の日本A(地理)		健康科学	スタートアップセミナー	
					日本とアジアA(地理)		英語スキルⅠ		
					歴史学の方法		情報スキル入門		
	秋学期					世界の中の日本B(歴史)		日本の憲法	
						日本とアジアB(歴史)		英語スキルⅡ	
						地域調査の基礎		情報スキル活用	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	ヨーロッパの歴史A		スポーツA		
		2	A	教育史	史科学		英語スキルⅢ		
					考古学A				
					アジアの歴史A				
					日本の中世				
					日本の近世				
	秋学期	2	A	教育原論	アメリカの歴史		スポーツB		
		2	B	教育心理	日本地誌		英語スキルⅣ		
		3	B	教育方法論	資料保存論				
					ヨーロッパの歴史B				
					アジアの歴史B				
3年次	春学期	3	A	教育課程総論	歴史学特殊講義A				
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	地理学特殊講義A				
		3	C	特別活動	日本史の文献を読むA				
		4	AC	生徒指導・進路指導	歴史学特殊講義B				
	秋学期	2	C	教育行政学	世界地誌				
		3	B	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	地理学特殊講義B				
		4	B	学校教育相談	日本史の文献を読むB				
4年次	春学期	2	C	学校経営論				卒業研究	
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)				卒業研究	
集中	5		教育実習A						